

研究セミナー「国内発生源の影響」 開催のご案内

微小粒子状物質 (PM_{2.5}) の削減対策を検討するためには、PM_{2.5} の原因物質と発生源を明らかにすることが重要です。国外からの移流による越境汚染の影響のみならず、PM_{2.5} 濃度が上昇するときには国内発生源の寄与が大きい場合もあり得ます。そこで、自動車、船舶、野外焼却など国内発生源の影響や高濃度となる気象条件について学び、情報交換するための研究セミナーを開催いたします。自治体や企業、研究所、大学等の研究者、学生ほか多くの皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時：2017年3月3日（金）13時30分から17時15分（受付13時から）

場所：兵庫県立工業技術センター 技術交流館 2階 セミナー室（I & II）

神戸市須磨区行平町 3-1-12 <http://www.hyogo-kg.jp/access/>

※別紙「会場案内」参照

プログラム：

13:30～13:35 開会挨拶

13:35～14:15 船舶を対象とした排出規制と二次粒子濃度との関係
櫻井 達也氏（明星大学）

14:15～14:55 自動車からの粒子排出－実態と対策－
山田 裕之 氏（交通安全環境研究所）

14:55～15:10 休憩

15:10～15:50 寒候期の高濃度への気象条件・野外焼却の影響
長谷川 就一 氏（埼玉県環境科学国際センター）

15:50～16:30 PM 高濃度時の気象条件－気温逆転層との関連－
早崎 将光 氏（国立環境研究所）

16:30～17:15 意見交換、兵庫県環境研究センターの見学

参加費：1,000円（資料代）

定員：80人

参加申込：2月24日（金）までに電子メールでお申し込みください。

申込・問合せ先：PM_{2.5}の化学特性に関する研究会 木戸瑞佳（富山県環境科学センター）

mizuka.kido@eco.pref.toyama.jp

主催：日本エアロゾル学会 PM_{2.5}の化学特性に関する研究会

共催：大気環境学会近畿支部エアロゾル部会、大気環境学会都市大気エアロゾル分科会

会場案内

会 場：兵庫県立工業技術センター 技術交流館 2階 セミナー室（I & II）

所在地：〒654-0037 神戸市須磨区行平町 3-1-12 （電話：078-731-4033）

<http://www.hyogo-kg.jp/access/>

案 内：JR 神戸線 鷹取駅から南西方向へ徒歩約 7 分



技術交流館